

2017年3月11日

若泉政人(サヨナラ原発福井ネットワーク)

## 福井から全国の原発反対運動への連帯メッセージ

まもなく、3.11、福島第一原発事故から6年を迎えます。いまだ避難生活を強いられている福島県の人々や東北の方々に私にできることは何かと問わずにいられない思いです。

昨年暮れにもんじゅの廃炉が決まりました。これを受けて西川福井県知事は、機器の点検ミスなどが改善されなかったことを理由に、運用主体である日本原子力研究開発機構が廃炉を担うことについて不信感を表し、国に注文をつけています。しかし、私たちがこの点検ミスが明らかになった2012年の翌年、県に対して申し入れた際、県原子力安全対策課長は「もんじゅは原型炉だから(実用炉ではない)」と事の重大さを全く認識していませんでした。再稼働ありきの安倍政権だけでなく、自らの判断の過ちを認識することなく国の責任ばかりをあげつらう西川知事の原子力行政にも私たちは反対します。

現在、大津地裁の仮処分決定を受けて停止中の高浜原発3、4号機の行方も注視されています。関西電力はともかくどの原発であろうが再稼働できる手続きだけは進めています。

私たちは核と共存することはできません。安全保障を理由に武装化に向かおうとしているような昨今、原発再稼働と核武装を結びつける「見えない線」をも指摘しながら、福井でも原発に反対する運動を続けていきます。全国の原発反対に立ち上がる仲間たちとの連帯を表明し、福井からのあさいつとさせていただきます。私たちは福島原発事故を忘れない！

以上